

**Pick Up News** [個性と多様な価値観を大切に建築教育]入学おめでとう。本年は、過去10年間でも最多の新入生を迎えました。多くの個性と多様な価値観が溢れる本学科は建築を学ぶに相応しい環境です。皆さんの活躍を期待します。さて、工学部建築学科として歩んで53年。来年には建築学部建築学科が誕生します。心配は不要です。建築学科は変わりません。変わるのではなく、さらに発展します。皆さんへの教育もさらに充実させます。社会が、建設業界が注目して皆さんの活躍を見守ってくれています。自信をもって学んで下さい。そして建築学部への橋渡しをして下さい。建築学科での4年間の学びの中では、乗り越えなければならない山がいくつもあります。だからこそ力も自信もつきます。仲間とともに励まし合いながら、有意義な大学生活を送りましょう。(工大広報4月号学科長メッセージより)



2019年度 建築学科  
新入生156名  
入学おめでとうございます  
皆さんの4年間での成長を楽しみにしています  
撮影2019/04/08

**Pick Up Lab.** 薛研究室は構造力学を専門とする研究室です。現在は工業経済（工業におけるお金の流れ）などを勉強しています。研究内容としては本学5号館や10号館などをモデルとして、ブレースやオイルダンパーの効率的な配置を考えたり、加速度センサーを設置し、その建物において加速度から変位を求める最適な計算方法を研究する予定です。また、元々ゼミ研修であるものが、今年度は建築学科の海外研修企画となり、薛先生の母国である中国に行ってきました。今回は上海と北京の2都市を訪問し、建物や文化の違いについて学ぶことができました。国内で感じることのできない貴重な体験ができ、とても充実した旅行となりました。(4年内沢千尋)



左: 中国研修 万里の長城で薛先生と  
上: 研究室メンバー



4年 木村 大河くん  
仙台工業高校 出身

**Pick Up Student** 私は工業高校で建築を学んでいた頃、構造力学の授業が好きでした。逆に設計やコンペは苦手で、毎回先生からダメ出しをされては気を落としていました。しかしこの大学生活の中で考えが変わっていき、今では設計の方が好きになりました。その理由として、高校生の頃の自分は失敗を恐れていて、考えるばかりで実行に移していなかったからだと思います。小さなアイデアでも、模型のスタディやエスキスを繰り返していくことで思いがけない形になることもあります。とにかく手を動かし、些細な提案でも実行していく方が楽しく感じられ、授業のモチベーションにも繋がりました。残り少ない大学生活においても、塞ぎ込んだ考えはせず、悔いの無いように過ごしたいと思います。



2年 平賀 萌絵さん  
宮城県工業高校 出身

**Pick Up Student** 新入生の皆さんご入学おめでとうございます！私は工業高校出身のため、建築は学んでおり、それなりの知識はありましたが、大学での学びは、より専門的な講義内容、今までとは異なった大学生活は困惑することばかりでした。その中でもCADは、初めて扱うものであり、難しいと思ってしまい苦手意識がありました。しかし、解説動画を見る事が出来る学修支援システムのお陰で苦手意識はなくなり、スムーズに課題を提出する事ができたと思います。また、サッカー部のマネージャーとアルバイトとを両立しながら、課題を行うのも大変でした。何度も投げ出したくなりそうでしたが、友達に協力してもらい乗り越えることが出来たと思います。2年生ではさらに実践的で専門的な講義になってくるとはいますが、積極的に吸収できるよう頑張りたいと思います。